

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	93	事業名	函館図書館情報システム管理費		事業の性質別	裁量的経費	区分	
予算事項名	大事項	図書館管理費		中事項	情報システム管理費		部課名	生涯学習部生涯学習文化課
事業開始年度	平成 15 年度	根拠法令等	なし	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例,規則,要綱等() <input type="checkbox"/> 市条例,規則,要綱等()		電話番号	21-3464	

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	【目的】 図書館情報システムは、函館図書館の蔵書管理(資料登録・除籍・発注管理・統計・帳票業務等)や利用者情報管理のほか、カウンターサービス(蔵書検索・予約・貸出・返却・督促等)およびWEBサービス(蔵書検索・予約・マイページ機能等)などを電算処理するための情報システム基盤である。情報システムの導入・整備により、図書館運営を効率化し、利用者対応の向上を図るほか、地区図書室とのネットワーク網を構築することで、充実した物流管理を可能とし、利用者の利便性の推進や情報提供の拡大に資することを目的とする。
	【必要性】 現行の図書館サービス水準の維持に必要不可欠である。
内容	蔵書管理・カウンターサービス・WEBサービスなどの図書館基幹業務に十分に対応できる図書館情報システムの構築と、導入機器およびソフトウェアの調整・保守、ならびに運用や変更に係る全面的支援。【図書館情報システム】メーカー名:NECネクサスソリューションズ,システム名:LICS-RE(リックス・アール・イー)方式:クライアントサーバー方式 構成:サーバー3台(DBサーバー・APサーバー・WEB検索サーバー)・業務用クライアント44台・利用者用端末OPAC(オーパック)19台・自動貸出機3台ほか、バーコードリーダー、プリンター等の付随機器。【その他館内サービス】館内インターネット用端末16台ほか、通信機器・館内ネットワーク等の付随機器。

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		27,132	26,448	26,713	25,273	19,898	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源		27,132	26,448	26,713	25,273	19,898	
事業を実施するために必要な人件費 ※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっても0で表示されている場合がある。	職員	人工 0.06 450	人工 0.05 361	人工 0.03 219	人工 0.03 219	人工 0.02 150	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0				
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0				
	人件費 (B)	450	361	219	219	150	0
総事業費計 (A+B)		27,582	26,809	26,932	25,492	20,048	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
貸出人数	冊	387,153	368,564	343,532	
予約人数	人	116,924	114,320	109,702	
(うち, WEB予約等)	冊	81,645	82,741	80,626	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	図書館の利用状況
------	----------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	図書予約を行う人の7割以上がWEB予約を利用しており、図書館情報システムを使った図書館利用が定着していると考えられる。
--------	---

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目		評価内容	評価内容の説明	評価項目		評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	現行のデジタル資料館用管理サーバーを外部委託化できるかどうか調査が必要	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	デジタル資料館用管理サーバーを外部委託化した場合のコスト増やリース契約期間の調整によるコスト増の可能性はある。
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当			将来コスト増減見込み	現在より増加する可能性	
			受益者負担の適正度	評価対象外			
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	安定稼働が図られている。	執行方法	外部委託の可能性	実施していないが、可能	指定管理者への外部委託化により、より効率的な運用が図られる。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適			実施方法の効率性	図られている(今後も更に改善可能)	
評価結果から明らかに なった課題事項など		図書館情報システムの館内ネットワークを使用して設置しているデジタル資料館用管理サーバーについて、大容量化やバックアップ機能の強化などが課題となっているため、次回指定管理者募集に向け運用体制の見直しを含め、検討したい。					

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 次回指定管理者募集に向け運用体制の見直しを含め検討するが、当面は現行システムを維持する。
	当面現状維持	(経費について) 長期継続契約期間中は、現行システムの仕様を維持し、仕様変更にかかるカスタマイズ経費をかけない。

参考: 他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--